



平成20年5月2日

各 位

会 社 名 リバーエレクトック株式会社
代表者名 代表取締役社長 若尾 富士男
(JASDAQ・コード番号: 6666)
問合せ先 取締役総務本部長 大塩 久男
TEL 0551-22-1211

平成20年3月期(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ

平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の業績予想について、平成19年11月12日付「平成20年3月期中間決算短信」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成20年3月期連結業績予想の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	10,019	1,077	1,071	635
今回修正予想(B)	9,287	992	998	588
増減額(B-A)	△732	△84	△73	△47
増減率(%)	△7.3	△7.8	△6.8	△7.5
(ご参考)前期実績 (平成19年3月期)	9,248	862	890	498

2. 平成20年3月期個別業績予想の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	9,553	1,016	1,003	572
今回修正予想(B)	8,567	832	843	489
増減額(B-A)	△986	△184	△159	△83
増減率(%)	△10.3	△18.2	△15.9	△14.5
(ご参考)前期実績 (平成19年3月期)	8,403	723	771	417

3. 修正の理由

(1) 連結業績予想

売上高につきましては、これまで好調でありました携帯電話用無線モジュール向けの受注が第4四半期において主要顧客の生産調整等の影響により落ち込み、それに伴い主力製品である超小型水晶振動子の販売数量が減少し、前回予想の10,019百万円に対し、732百万円減少の9,287百万円となる見込みであります。

営業利益は、生産設備の稼働効率の向上及び労務費を中心とした固定費の圧縮等のコスト削減を図ったものの、売上高の減少を吸収できず、前回予想の1,077百万円に対し、84百万円減少の992百万円となる見込みであります。

経常利益は、上期の業績好調により借入金が増加したため、支払利息が計画を下回ったことなどにより、前回予想の1,071百万円に対し、73百万円減少の998百万円となる見込みであります。

当期純利益は、上記理由に加え、固定資産除却損29百万円が計画を下回ったことなどにより、前回予想の635百万円に対し、47百万円減少の588百万円となる見込みであります。

(2) 個別業績予想

個別業績予想につきましては、上記に記載いたしました連結業績予想修正の理由と同様の要因によるものであります。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により、上記予想数値と異なる可能性があります。

以 上